

国土地理院では、地図・測量分野からの貢献として過去に発生した**自然災害の教訓を後世に伝え**ようと先人たちが残した記録(石碑やモニュメント)を地域の方々に伝えるとともに、的確な防災行動による被害軽減を目指すため、**「自然災害伝承碑」の地図記号を制定**し、地理院地図等への掲載を推進しています。

洪水

(大分県日田市)

大正10年(1921)6月17日の大雨により、三隈川が氾濫し、旧日田町では死者1名を出した。銭淵橋、小淵橋、庄手橋が流されるとともに、堤防は決壊し隅町で60cm~120cmの浸水に見舞われ、裏川原庄手中の川付近では180cm浸水するなどの被害がでた。



地震

(福岡県福岡市)

平成17年(2005)3月20日、福岡市玄界灘を震源とするマグニチュード7.0、震度6弱の地震により、道路が崖崩れなどにより通行止めになり、家屋被害も発生した。



土砂災害

(熊本県球磨郡五木村)

昭和38年(1963)8月17日、集中豪雨により横手谷で土石流が発生した。これにより横手地区では全戸が流出し、死者10名、行方不明者1名の大災害となった。

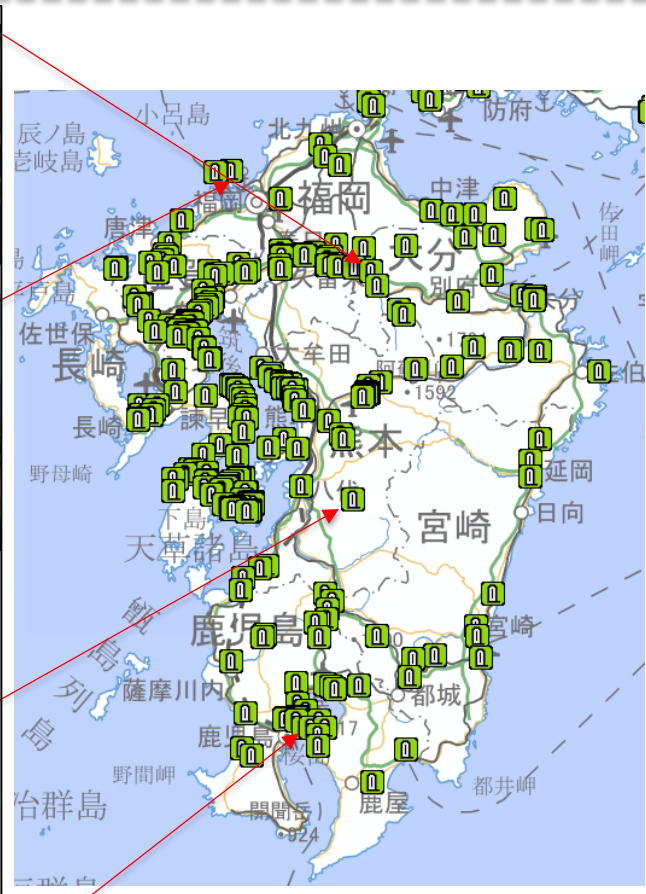


火山災害

(鹿児島県鹿児島市)

烏島は高さ約20メートル周囲約500メートルの、玄武岩質岩石の島であった。1914(大正3)年1月13日、桜島西腹から流出した溶岩は18日にこの島を埋没させた。ここに碑を建ててその跡を示す。





全国666市区町村2,381基を地理院地図等に掲載しています。(令和7年8月：九州251基)

・福岡県 22基	・佐賀県 51基	・長崎県 27基
・熊本県 77基	・大分県 26基	・宮崎県 13基
・鹿児島県 35基		

広報誌及びホームページ、イベント等での紹介

自治体のイベント等の取組、広報誌などに地元の自然災害伝承碑を紹介することで、過去に発生した自然災害や教訓を地域の方々に伝える事ができ、自然災害を身近に感じるきっかけや地域住民の防災意識の向上に繋がれると考えます。

☆福岡県うきは市(冊子)



☆自治体ホームページへの掲載

- ・福岡県北九州市
- ・福岡県うきは市
- ・長崎県長崎市
- ・大分県宇佐市



☆天草市立本渡歴史民俗資料館企画展「歴史資料でみる天草の災害展」



「自然災害伝承碑」表示例



筑後川災害復旧記念の碑
(福岡県久留米市)

自然災害伝承碑の情報は、市町村の皆様と協力・連携して収集しています。
管内の自然災害伝承碑の申請にご協力をお願いいたします。

市町村

防災担当部局等

- ・ 伝承碑情報の取得
- ・ 情報の提供
- ・ 書類の作成
- ・ **登録申請**

情報提供

フィードバック

登録申請

公開のお知らせ

国土地理院

九州地方測量部

- ・ 市町村からの情報確認
- ・ 情報のフィードバック
- ・ 登録、公開のお知らせ

自然災害伝承碑の詳しい申請方法は、以下のウェブサイトで紹介しています。

「自然災害伝承碑」の取組

<http://www.gsi.go.jp/bousaichiri/denshouhi.html>

<問合せ先>

国土地理院 九州地方測量部測量課

Tel : 092-411-7910

e-mail : gsi-densyou-9@gxb.mlit.go.jp

または

国土交通省 九州地方整備局 防災室

Tel : 092-476-3544

e-mail : qsr-densyou-89@gxb.mlit.go.jp